

糖尿病と
腎機能

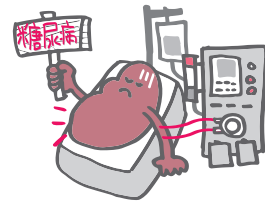
Q 糖尿病で腎臓が悪くなると聞きましたが、
どんな経過をたどるのでしょうか？

A

糖尿病で血糖
コントロールが不
良な状態が数年

以上続くと、尿へのアルブ
ミン(タンパクの一種)の排
せつが増えてきます。さら
に増加すると、試験紙を
使った通常の尿

検査でもタンパ
クが陽性となり、
その後、尿タンパ
クの増加とともに
腎機能が低下
してきます。この



頃になつてようやく、むく
みやだるさなどの自覚症
状が出現するようになり

ますが、この時点で治療を
開始しても進行を止める
ことはできず、多くは透析
療法に至ります。糖尿病
は透析導入の原因疾患の
第1位で、全体の4割以上

を占めています。また最近

は高齢化に伴い、前述のよ
うな経過をたどらず、タン
パク尿はほとんどないのに
腎不全に至るケースも増
えてきました。これは血清
クレアチンの上昇で診断

されます。このよ
うに、尿中アルブ
ミンと血清クレア
チンを測定する
ことで腎臓の状態
の段階(病期)が

判定され、早い段
階であれば進行を止めた
り大幅に遅らせたりする
ことが十分可能です。



高知高須病院
糖尿病内科・腎臓内科部長
吉本 幸生さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 (泌尿器科)